

とき

vol.2

旬しゅんの人

郷土の伝統を 忘れないように

— 第7回高校生小論文コンクールで
最優秀賞受賞 —



えみ
下條絵美さん（浅谷、18）

第7回高校生小論文コンクール（財団法人生涯学習振興財団主催）に応募した下條絵美さん（佐賀県立伊万里高等学校3年）の作品が、このほど個人部門最優秀賞に輝きました。

同コンクールは、「今こそ大志を語れ」をテーマに全国の高校生から作品を募集し、個人・グループ部門合わせて6,027編の応募がありました。下條さんは、「わたしの夢と郷土」と題し、自分の体験から郷土に対する考えや思いをつづった作品で受賞しました。

下條さんは「作品を応募するきっかけは夏休みの公民科の課題でした。まさか自分の作品が選ばれると思っていなかったので、知らせて聞いたときはとても驚きました。作品には、家を出てわずかに歩くだけで四季のうつろいを感じる事ができて、とても幸せだと思うこと。また、浅谷のみならず町内全体で少子高齢化は進む一方で、浅谷浮立でも後継者不足が問題となつていることなど、地域への愛着や少子高齢化する社会の中で伝統を伝えることの難しさを取り上げて書きました。

1月29日の表彰式（福岡市）では、初めて大勢の人の前で作品についてスピーチし、とても緊張しました。

今後は、学芸員を目指し進学します。郷土の伝統を忘れないよう頑張りたいです」と話していました。



表彰式でスピーチをする下條さん